

ユネスコスクール 全国大会

2023.1.20 第五分科会

早稲田大学系属 早稲田摂陵高等学校
Wコース長 米田 謙三



本日の流れ

- 1 総合的な探究の時間他（STEAM教育・専門演習ゼミ）
未来の教室 実践
- 2 ICT×英語他の授業での取り組み
デジタルシチズンシップの取り組み
- 3 高大接続教育



WASEDA University

総合的な探究の時間

Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study



総合的な探究の時間・専門演習(ゼミ)

W Seminar 3年間のスケジュール (Wコース)

| 2023 | APR | MAY | JUN | JUL | AUG | SEP | OCT | NOV | DEC | JAN | FEV | MAR | |
|------|-----------|-----------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|--|
| 1年次 | 探究プロセスを学ぶ | | | | | 研究 | | | | レポート・プレゼン準備 | | | |
| 2年次 | プレゼン | 専門演習 (ゼミ) | | | | | | | | | | | |
| 3年次 | 論文執筆 | | | | | 論文発表 | | | | | | | |

総合的な探究の時間

W Seminar 1年次の取り組み

| 2023 | APR | MAY | JUN | JUL | AUG | SEP | OCT | NOV | DEC | JAN | FEV | MAR |
|------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|-----|
| 1年次 | 探究プロセスを学ぶ | | | | 研究 | | | | レポート・プレゼン準備 | | | |

VTS (Visual Thinking Strategy)

→VTS (Visual Thinking Strategy) とは、1980年代
NYで生まれた対話型鑑賞と呼ばれる美術鑑賞法

質的研究

→インタビューや記録などの主観的データをもとに
研究対象の社会的・文化的な解釈を深める研究

研究テーマ

生分解性プラスチックについて

睡眠について

食品ロスを削減するためには

アフリカから見る日本の女性の政治参画

思春期の心の病に陥る原因とその後の接し方について

総合的な探究の時間

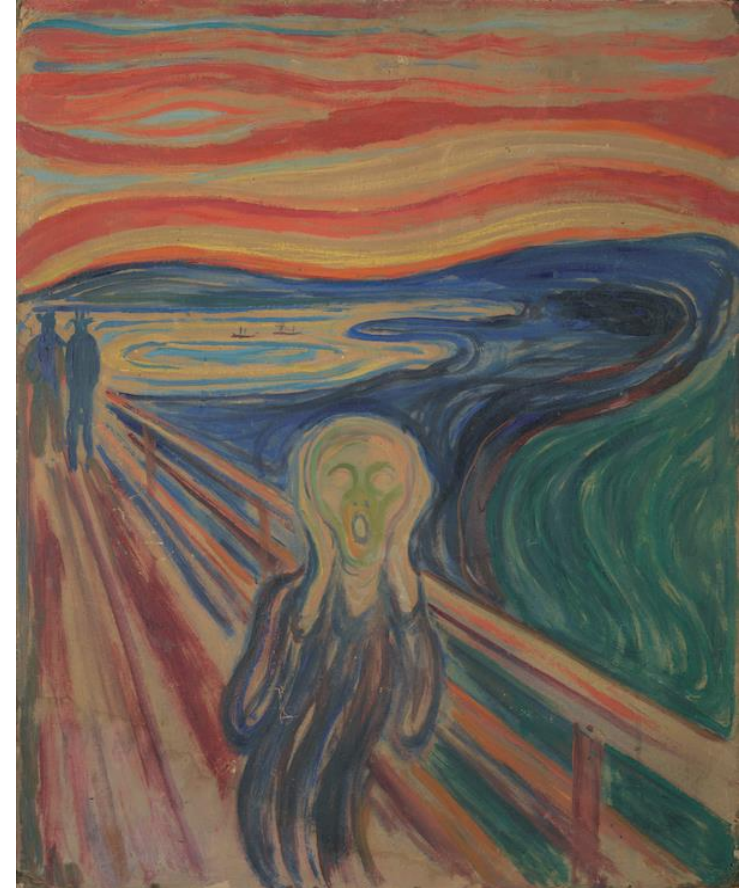
W Seminar 1年次の取り組み

Visual Thinking Strategy

1980年代にMoMA(ニューヨーク近代美術館)の教育部部長のフィリップ・ヤノウイン氏と認知心理学者アビゲイル・ハウゼン氏が共にVTS (Visual Thinking Strategy) という新しい鑑賞教育を開発。アート鑑賞を通して、「観察力」「批判的思考力」「コミュニケーション力」を育成する教育カリキュラム。

1. この作品の中で、どんな出来事が起きているのでしょうか？
2. 作品のどこからそう思いましたか？
3. もっと発見はありますか？

- ・アート作品を見て、考え、意味を見出すプロセスを経験
- ・鑑賞者同士が互いの感想を語り合う対話形式（言語能力向上）
- ・物事を体系的に考える力やコミュニケーション能力、推察力、問題解決力が磨く。



総合的な探究の時間

W Seminar 1年次の取り組み

質的研究

→インタビューや記録などの主観的データをもとに
研究対象の社会的・文化的な解釈を深める研究



総合的な探究の時間

W Seminar 1年次の取り組み

質的研究

1 学生によるインタビュー調査に関する講義



2 インタビュー内容（問い）を考える



総合的な探究の時間

W Seminar 1年次の取り組み

質的研究

3 キャンパス内で学生へのインタビュー



4 インタビュー結果についての考察（プレゼン準備）

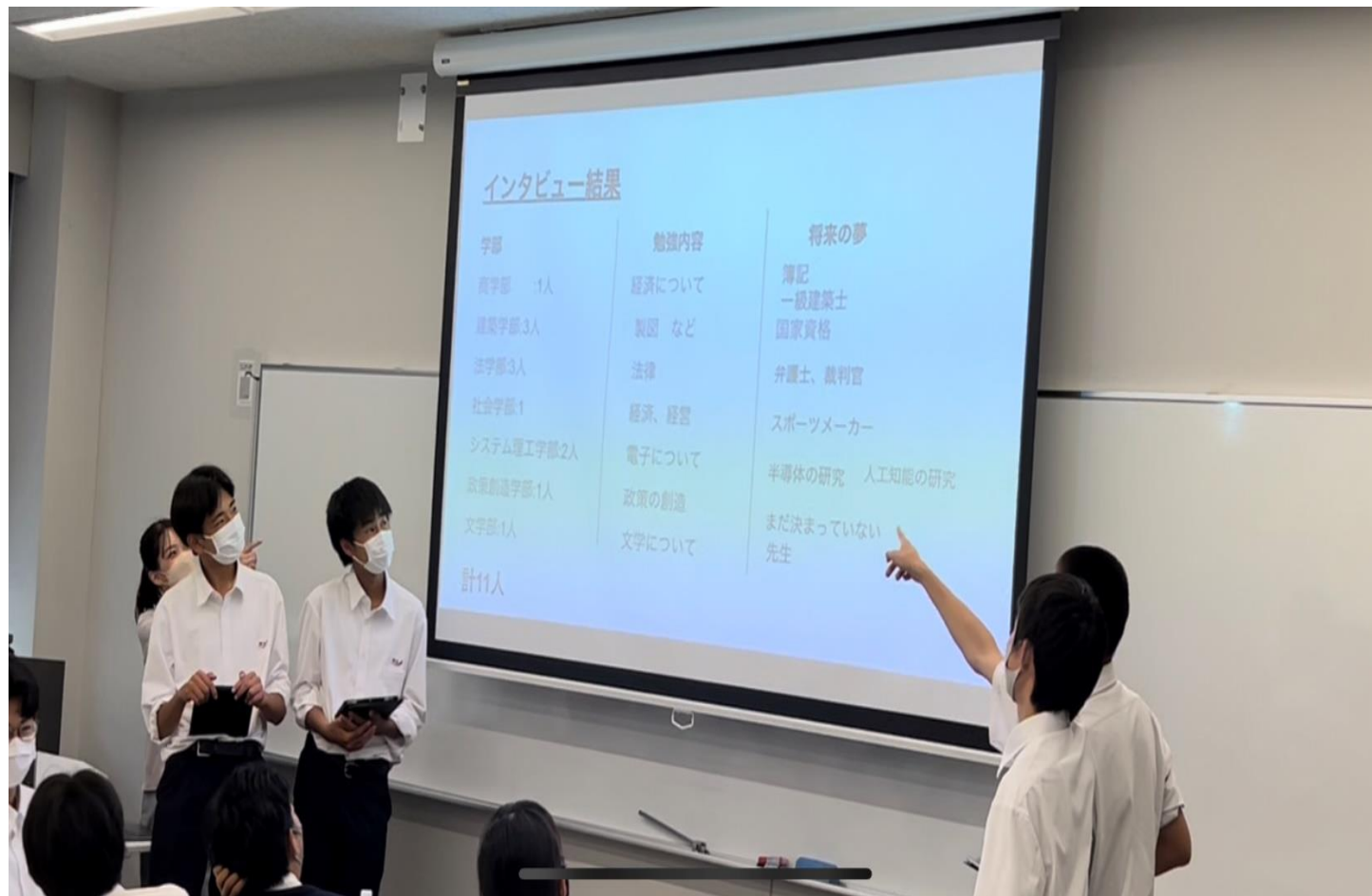


総合的な探究の時間

W Seminar 1年次の取り組み

質的研究

5 プレゼンテーション・質疑応答



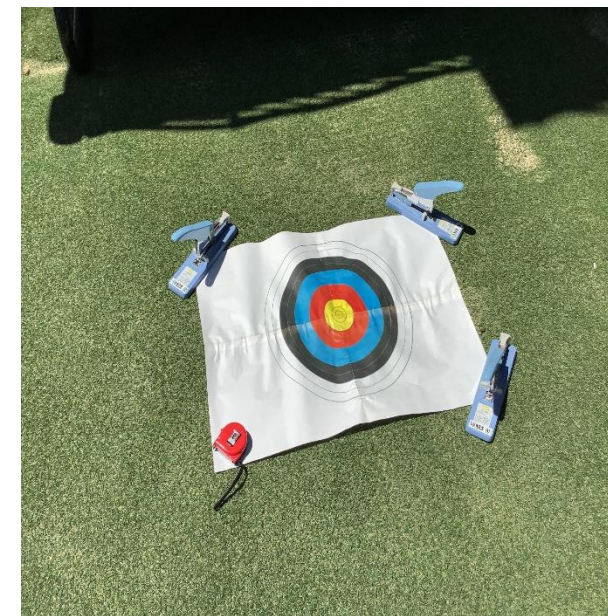
総合的な探究の時間

STEAM教育

Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study

1 EGG DROP

STEAM教育に関する取り組み



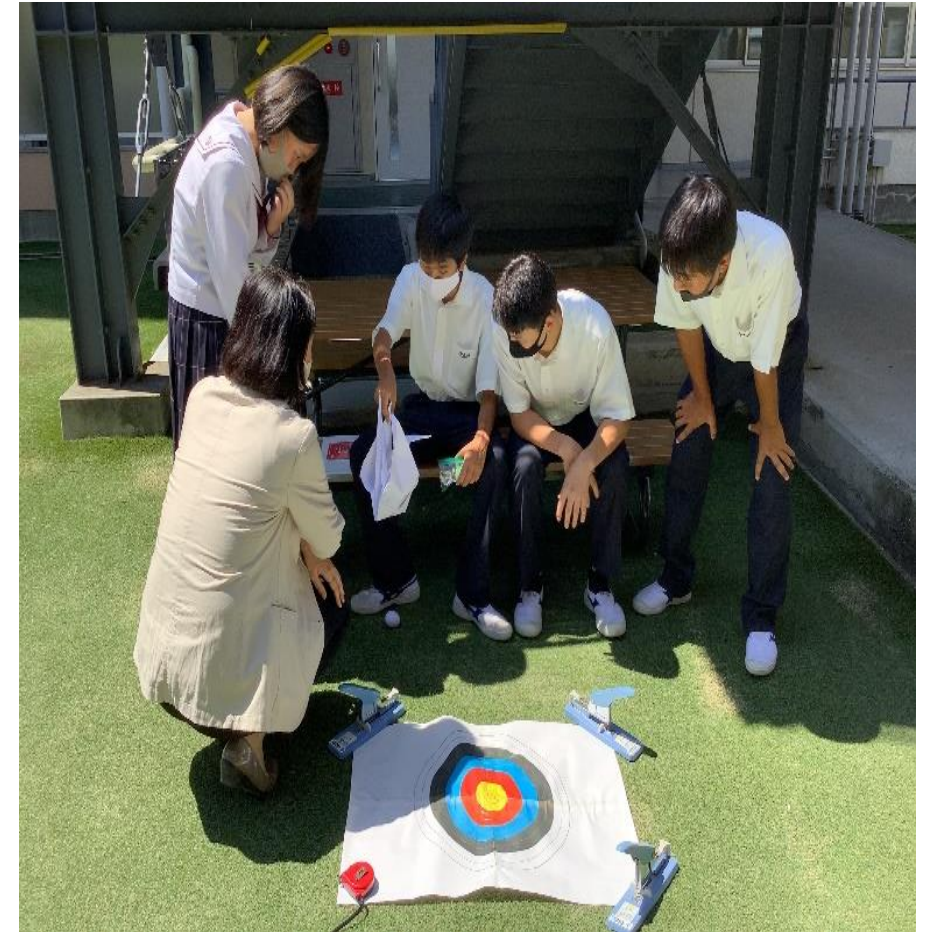
総合的な探究の時間

Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study

EGG DROP

- ・ゲーミフィケーションの要素
- ・文理関係なく楽しみながら物理や数学などの科学知識を教科横断的に身につけることができる競技性の高い理科実験科学イベント
- ・技術立国日本は、「ものづくり日本」でもある。単なる理科実験だけではなく、ものづくりの魅力を感じてもらえるようなサイエンスイベント
- ・理科実験“エッグドロップ”を利用し、チームで様々な条件の中で、
 - ・プロテクターの制作（手を動かすことによる体験型科学実験）
 - ・実験ノートを作成し、プレゼンテーション

発想力・デザイン力・思考力・物理・数学などの知識力・実践力



金融教育 教科横断 情報・公共・家庭科

金融教育 教科横断

・
財務省・消費者庁 コラボ 家庭科・政治経済・情報・総合 他
「高校生と先生のための金融経済教育・消費者教育シンポジウム」の開催について：財務省
近畿財務局 (mof.go.jp)
<http://kinki.mof.go.jp/file/rizai/pagekinkihp000099966.html>

知るポルト

<https://www.shiruporuto.jp/education/>

※ インドネシアの学校との交流授業

経済産業省 未来の教室 実践

「STEAM ライブラリー」

「Ed Tech 教材」

ESD SDG s 関係の教材活用

未来の教室 ～learning innovation～

(learning-innovation.go.jp)

STEAMライブラリーの活用

NHK for School

NHK 高校講座 地理総合 <https://www.nhk.or.jp/kokokoza/chirisougou/>

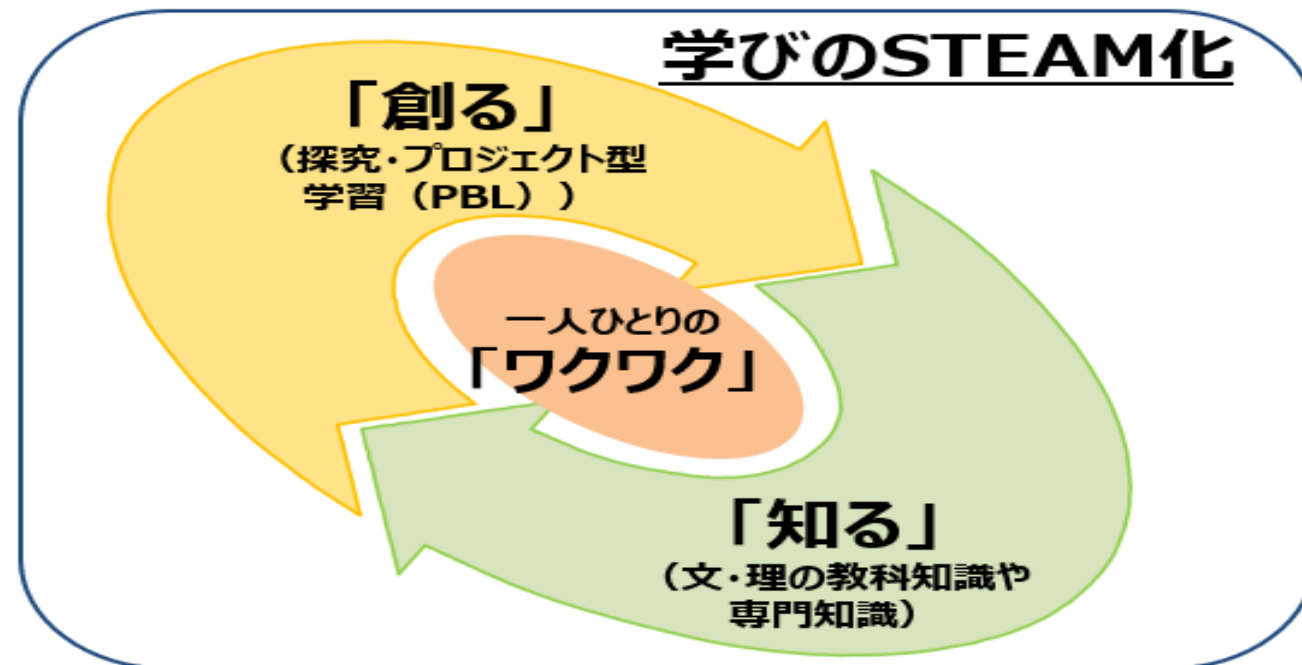
NHK 高校講座 情報 <https://www.nhk.or.jp/kokokoza/jouhou1/>

学びのSTEAM化

?

経済産業省「未来の教室」とEdTech 研究会 第2次提言 「学びのSTEAM化」

一人ひとりのワクワクする感覚を呼び覚まし、
文理を問わず教科知識や専門知識を習得する（＝「知る」）ことと、
探究・プロジェクト型学習（PBL）の中で知識に横串を刺し、
創造的・論理的に思考し、
未知の課題やその解決策を見出す（＝「創る」）ことが
循環する学び



専門演習（ゼミ）

少人数でのゼミを開講し、大学での研究をリードする人材の育成



専門演習

W Seminar 2・3年次の取り組み

| 2023 | APR | MAY | JUN | JUL | AUG | SEP | OCT | NOV | DEC | JAN | FEV | MAR |
|------|------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2年次 | プレゼン | 専門演習（ゼミ） | | | | | | | | | | |



ゼミテーマ

American and English Works Analysis

Introduction for Global Citizenship

法と正義

SDGsとグローバルシティズンシップ

物理を英語で学ぼう + 物理チャレンジ

日本美術史入門

ローズウッドの魅力に触れ、その産地判別方法を考える

専門演習

W Seminar 2・3年次の取り組み

英米作品（映画・絵画・ミュージカルなど）を社会的・文化的・心理学的側面から多角的に考察・分析。

（例）Formal Analysis（形式分析）

映画を構成する諸要素（撮影法・音響・演技・編集等）を一つ一つ解体し、個々の要素に焦点を当て分析を行う。



専門演習

W Seminar 2・3年次の取り組み

美術館訪問 芸術作品に触れる国立国際美術館訪問

- ・スクールプログラム
- ・鑑賞教材（鑑賞サポートツール）



総合的な探究の時間・専門演習

W Seminar 年間スケジュール

| 2023 | APR | MAY | JUN | JUL | AUG | SEP | OCT | NOV | DEC | JAN | FEV | MAR |
|------|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 3年次 | 論文執筆 | | | | | 論文発表 | | | | | | |

論文発表

- ・卒業論文執筆（4月～7月）
- ・9月に実施される文化祭で自身の研究成果を発表（予定）

ICT × 英語

英語コミュニケーションIIの授業での取り組み

地理総合・公共での取り組み
(時事英語、オンライン英会話)

AI活用実践



本校のICT環境

- ・ 一人一台iPadを入学時に購入
- ・ 教室にApple TVとプロジェクター（電子黒板機能付き）を設置
- ・ 黒板からホワイトボードへ
- ・ Google Classroom / Moodle (LMS)
- ・ Feelnote (ポートフォリオ)



国際交流

Intercultural Relationship

- ・ ニュージーランドの高校と交流
- ・ 学級紹介・日本紹介・大阪紹介ムービー作成
※使用言語：英語・日本語
- ・ 文化祭をライブ中継（予定）・ムービー作成
※日本の文化祭を体験
- ・ 台湾高雄市教育委員会 プレゼン大会参加



国際交流

Intercultural Relationship

構成台本・スクリプト

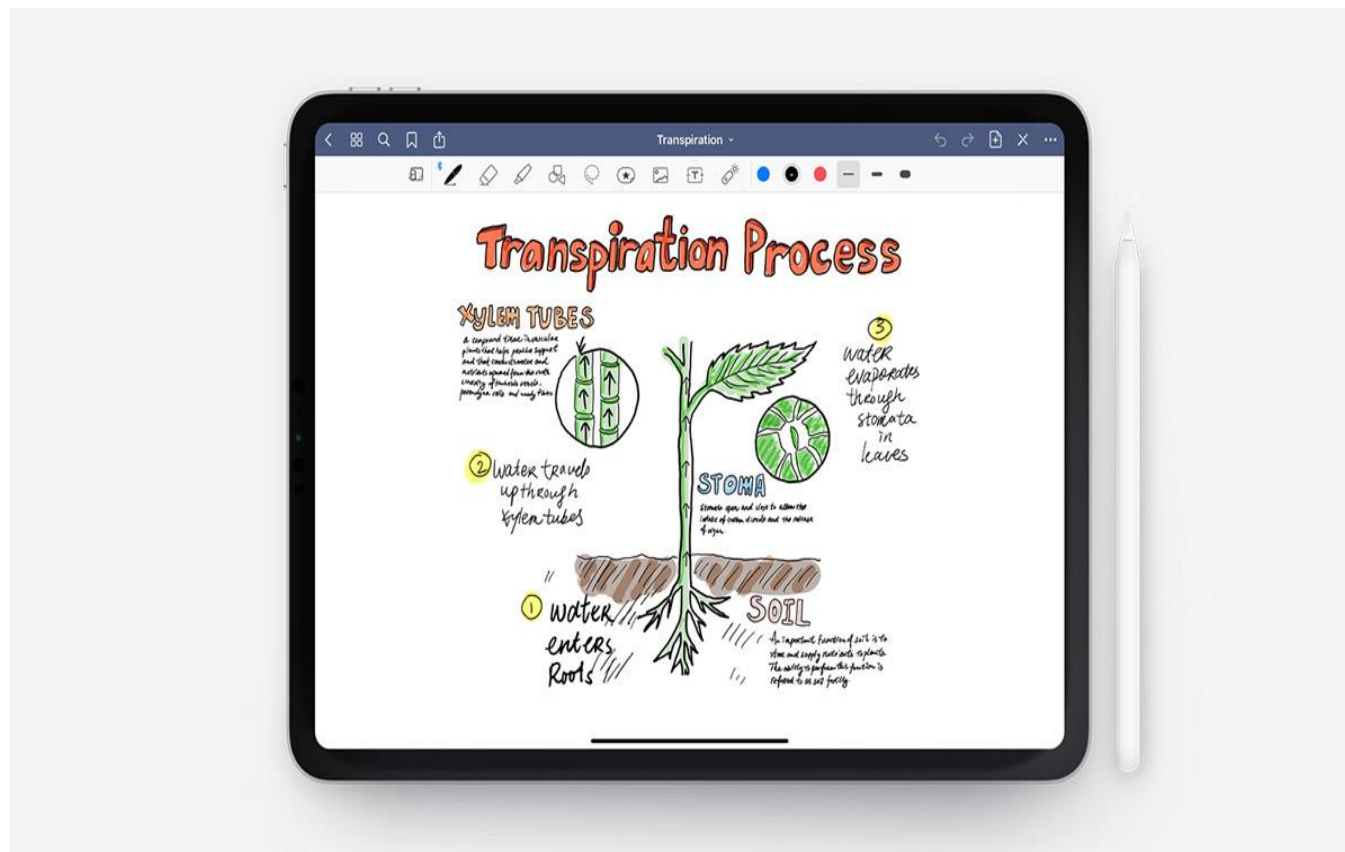
- GoodNotes 5 (ノートアプリ)
- Google Workspace

動画編集

- iMovie / InShot などの動画編集アプリ

オンライン会議

- Meet / Zoom など あわせて SNS活用



高大接続教育

High School and University Linkage



高大接続 (キャリア教育)

High School and University Linkage

1 知に触れる

早稲田大学の教授による特別講義

環境問題を経済学で解決:カーボンプライシングによる脱炭素

民法(契約法)を学ぶ「アイドル恋愛禁止」判決から

「社会」とは、「社会学」とは何か

時間をサイエンスする

人の生命・生活に寄り添う人間支援ロボット技術の最新動向

労働法とは

微生物がつくる世界:身の回りの世界と宇宙の世界

ポジティブ心理学を活かした目標の実現

Anthropology and Human Rights: Respect for Diversity in a Globalized World

①数字で見る組織運営

②心理的仕組みと認知のゆがみー意思決定に対する影響を考えるー

政治経済

法学

文学

教育

理工

社会科学

人間科学

スポーツ科学

国際

商学

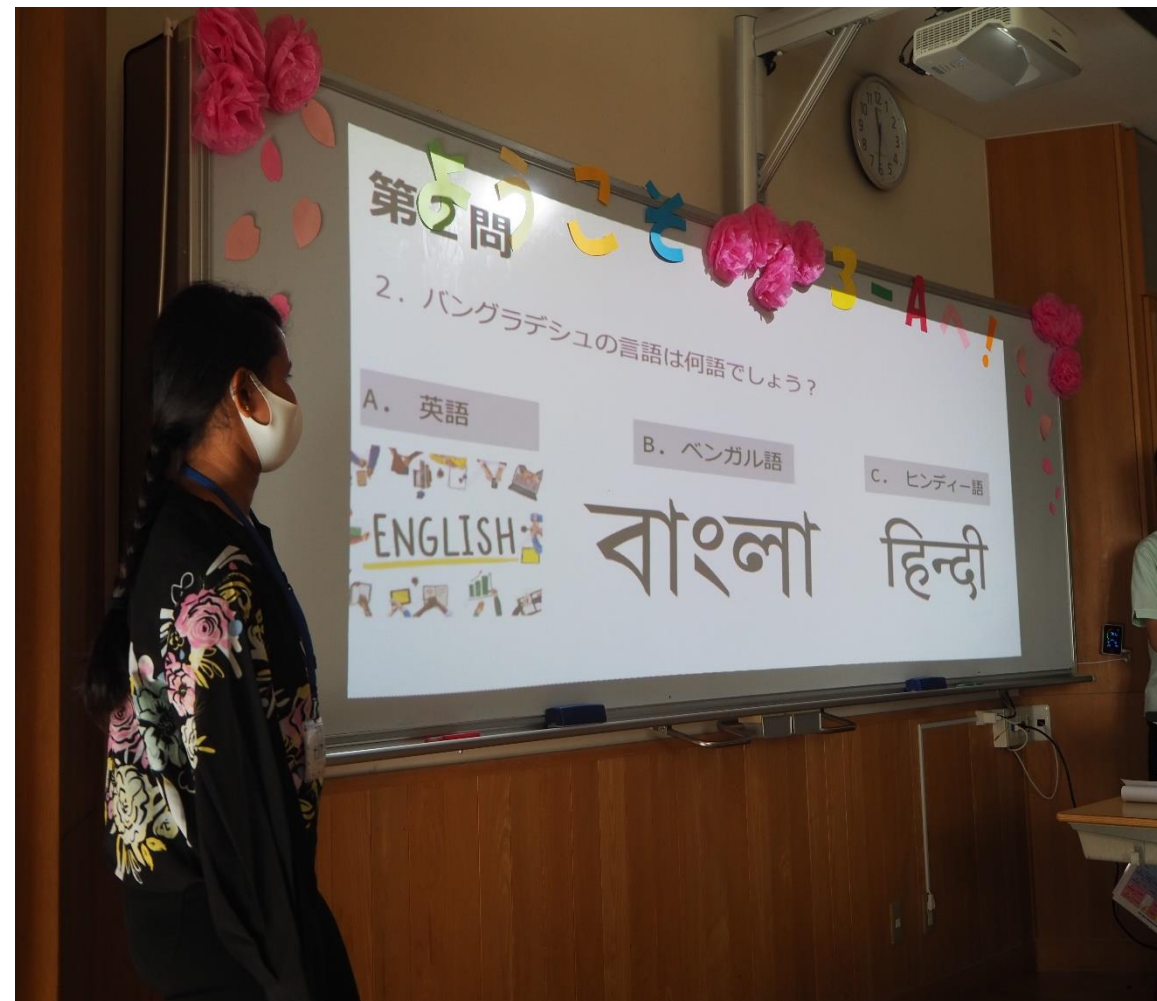


高大接続 (異文化理解)

High School and University Linkage

2 ICCアウトリーチプログラム

早稲田大学留学生による自国に関する特別授業



高大接続 (ボランティア)

High School and University Linkage

3 WAVOC

ボランティア教育推進プログラム

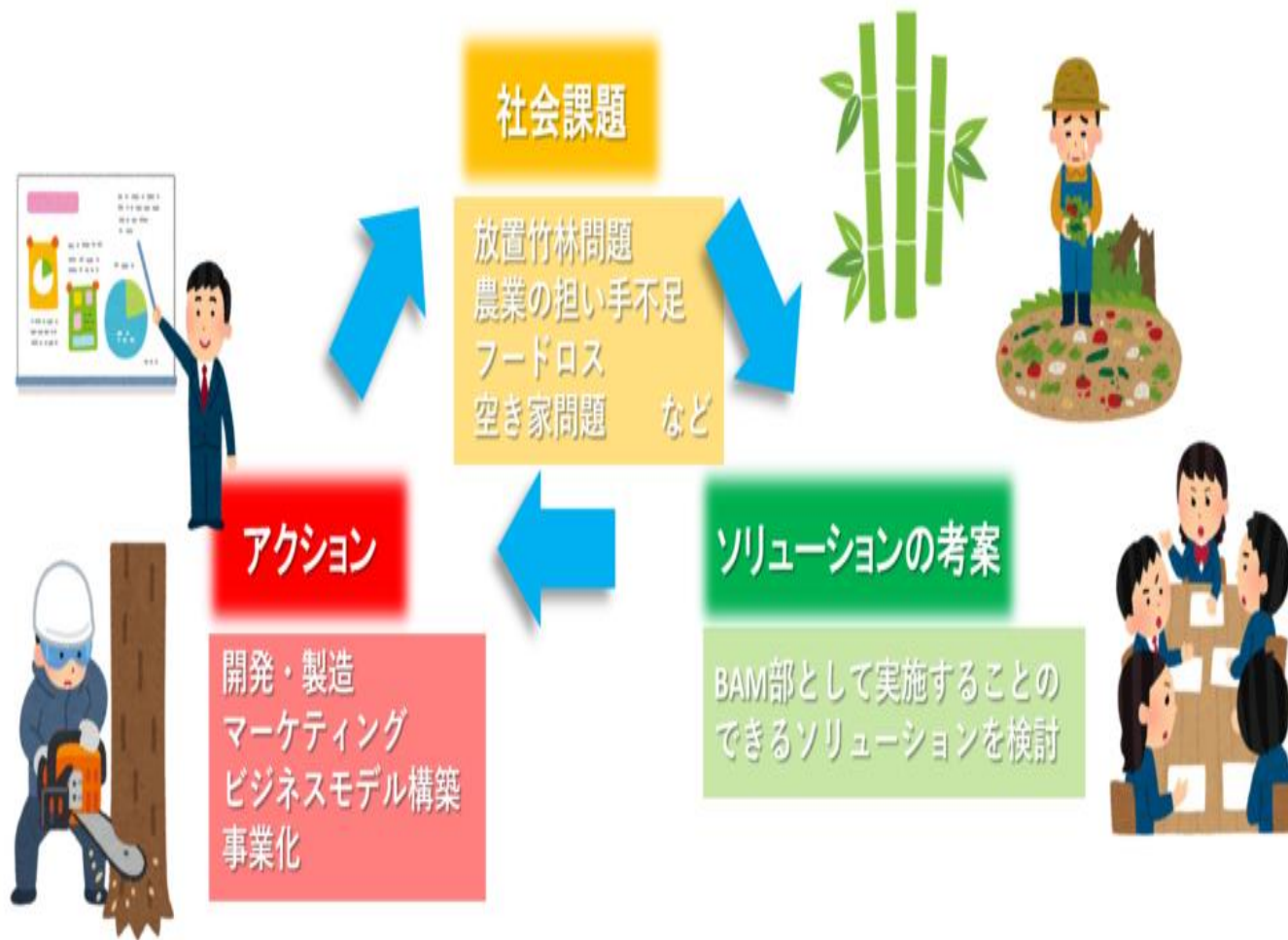


高大接続 (ボランティア)

High School and University Linkage

BAM部

地域の社会課題を持続可能なサイクルで解決する



高大接続 (産学連携)

High School and University Linkage

4 アシックス・ワークショップ

産学連携の企業体験プログラム



高大接続 (VR授業)

High School and University Linkage

5 早稲田大学教授によるVR授業

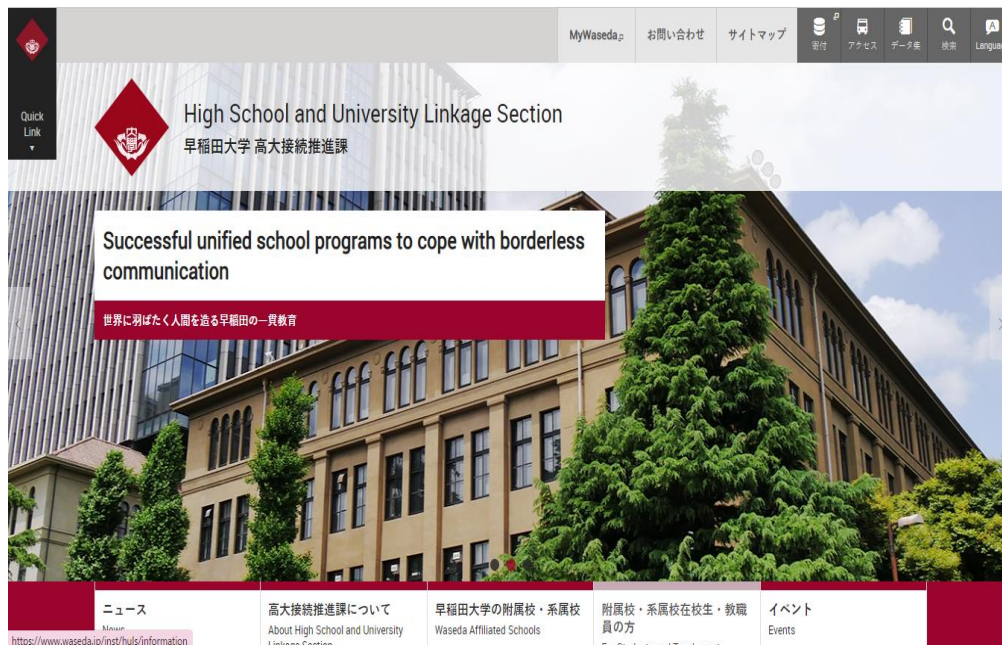
早稲田大学人間科学部教授・学生による授業



高大接続教育

High School and University Linkage

早稲田大学 高大接続教育推進課 HP
<https://www.waseda.jp/inst/huls/>



早稲田大学系属 早稲田摂陵高等学校 HP
<http://www.waseda-setsuryo.ed.jp/>



高大接続教育の成果と課題

Achievements and Challenges

成果

- ・ 高大接続教育の生徒の満足度は高い。
- ・ 自身の生き方をより現実的に捉えることができる。
- ・ 大学での学術研究分野と生徒自身の志望する専攻のミスマッチが減る。
- ・ 教職に就きたいと考える学生にとってもよい経験となる。

課題

- ・ 単発的な行事となり、日々の教育活動への還元がどの程度までなされているのか？
- ・ 大学教育や企業のノウハウをどのように日々の教育活動へ結び付けていくのか？

高大接続教育の課題に対する取り組み

Achievements and Challenges

知に触れる (教授による授業)

- ・系属校推薦・指定校推薦内定者による「プレ知に触れる。」を実施。推薦内定者が自身の専攻分野に関して高校2年生に授業を実施。
→学年を超えた生徒同士の学び

WAVOC (ボランティア)

- ・大学の学生団体 (ボランティアサークル) と本校のボランティア同好会 (有志の生徒) とのコラボレーション。
→課外活動の充実

アシックス・ワークショップ (産学連携)

- ・企業が実際に行っているロゴデザイン制作のノウハウをWコースバッジ作成へと活かし、コースバッジのデザイン・制作を行う。
→企業のノウハウを応用



WASEDA University

ユネスコスクール全国大会

2024.1.20

ご清聴ありがとうございました。

早稲田大学系属 早稲田摂陵高等学校
教育企画部

